

再生医療Japan2024

—— スポンサーセミナーのご案内

再生医療等製品のCDMOからみた製造プロセスの改善と、培地最適化によるアプローチ

本演題では、再生医療等製品の製造における培地最適化の重要性、培地スクリーニングの事例紹介と、実施中である間葉系幹細胞のスケールアップ検討について発表する。Minarisは再生医療等製品に特化したCDMOとして、約25年に渡りグローバルでサービスを提供してきた。しかし、ラボスケールから商業スケールへの培養スケールアップの際、細胞の増殖不良や品質規格への不適合が発生する課題と直面してきた。開発企業様の開発を止めることがないスムーズなスケールアップ体制の確立を目指し、細胞培養の重要な要素の一つである培地に着目し、マイオリッジとの検討をスタートした。

マイオリッジは、独自の培地成分データベースと探索技術を保有し、数十～数百種類の培地組成をハイスループットに設計及び試験できることを強みとして、提案型の培地最適化サービスを提供している。これまで、自社及び共同研究や顧客へのサービスを通じて多種多様な細胞のフェノタイプを培地で改変する経験を蓄積してきた。Minarisとの協業により、開発企業様の各パイプラインに適用可能な標準的な製造プロセスを提案することで、目的細胞のスケールアップ及び安定製造といった付加価値を提供していく。

Minaris Regenerative Medicine展示ブース

ブースNo.: 再生医療Japan R-40

展示内容: 再生医療等製品の製造受託サービス、製造プロセス開発等

2024

10.10 THU 14:00 -15:00

会場 アネックスホール F202
〒220-0012
神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1

参加無料 ※事前登録が必要です。

SEMINAR



CDMOからみた製造プロセス開発における培地の重要性と協業の意義

坂東 博人
Minaris Regenerative Medicine株式会社 代表取締役 CEO



再生医療等製品における培地の位置づけと、培地最適化による目的細胞のスケールアップ及び安定製造

南 一成
株式会社マイオリッジ 取締役 CTO

セミナーの
事前登録は

